

【KOA株式会社】 脱炭素への取組みによる 5つの主体との信頼の構築

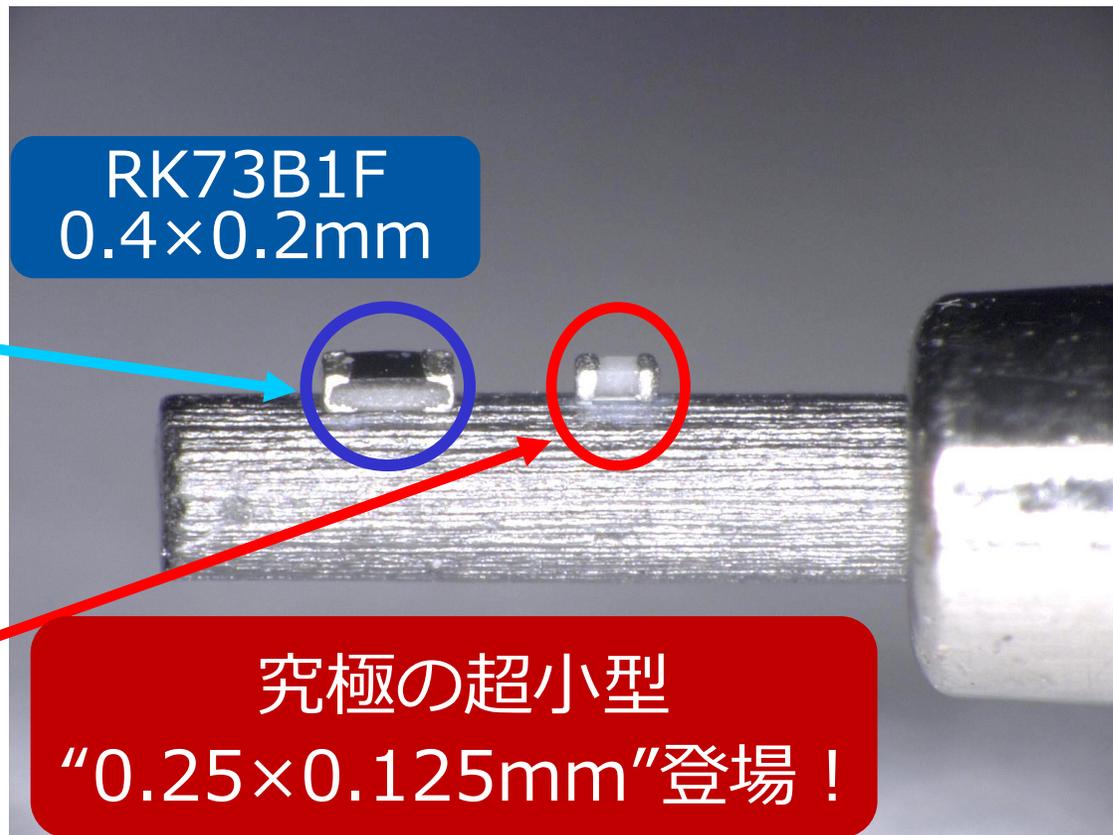
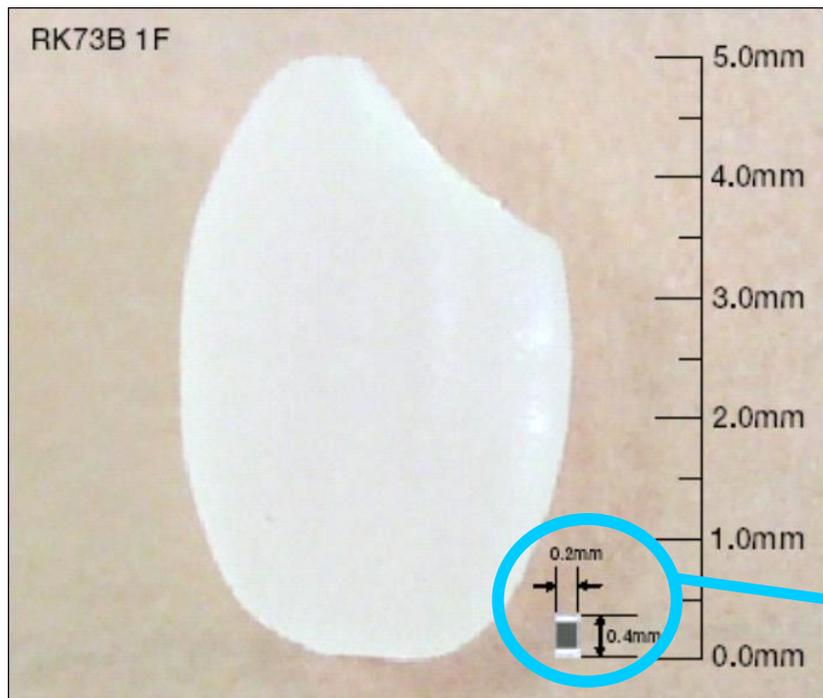
2023年10月28日
南信州環境メッセ2023



KOA株式会社

経営管理イニシアティブ
CSR推進センター
プロフィットマネージャー
吉川 琢郎

小さな抵抗器



0.25×0.125mm

KOAを支えていただいている「5つの主体」

創業の精神

創業者 故 向山 一人



■ 農工一体

疲弊していく農村で、お百姓がお百姓として家族そろって暮らせる故郷を取り戻すため、新たな産業を興した

■ 伊那谷に太陽を

伊那谷の各地に生産拠点をづくり、人が豊かに暮らす社会基盤・コミュニティとしての「会社」の役割を果たす

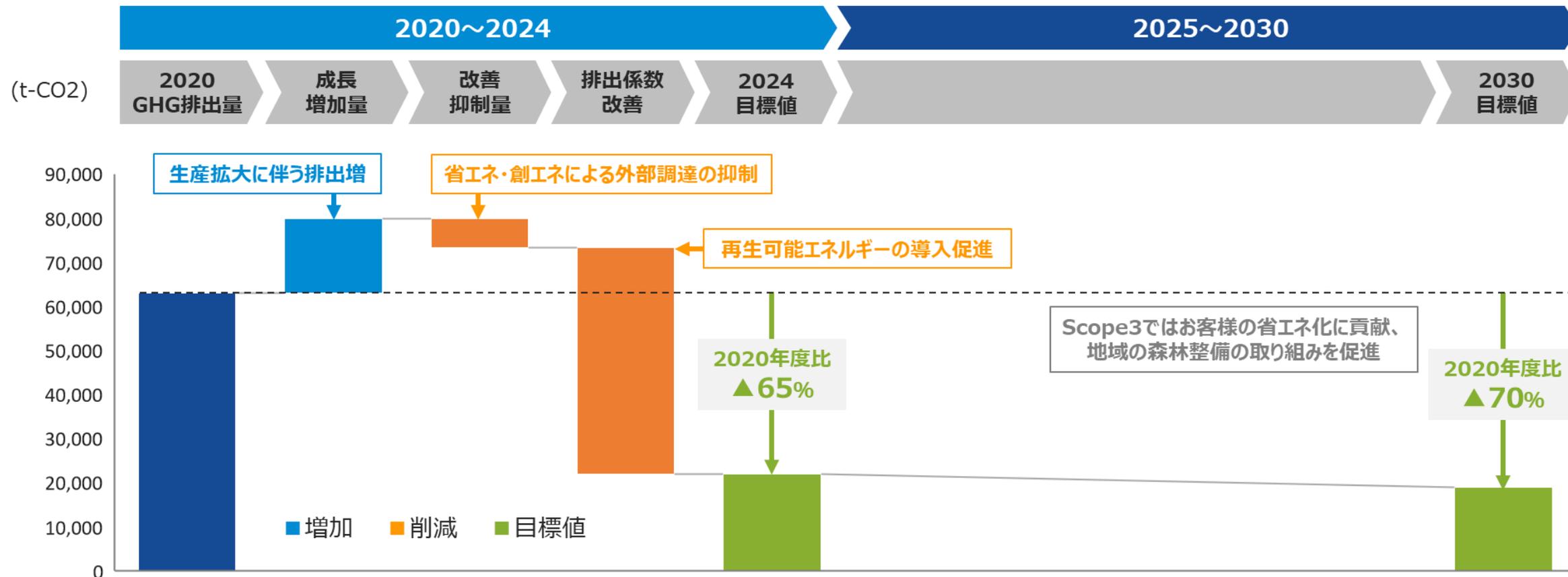


2030ビジョン・中期経営計画／GHG排出量の削減

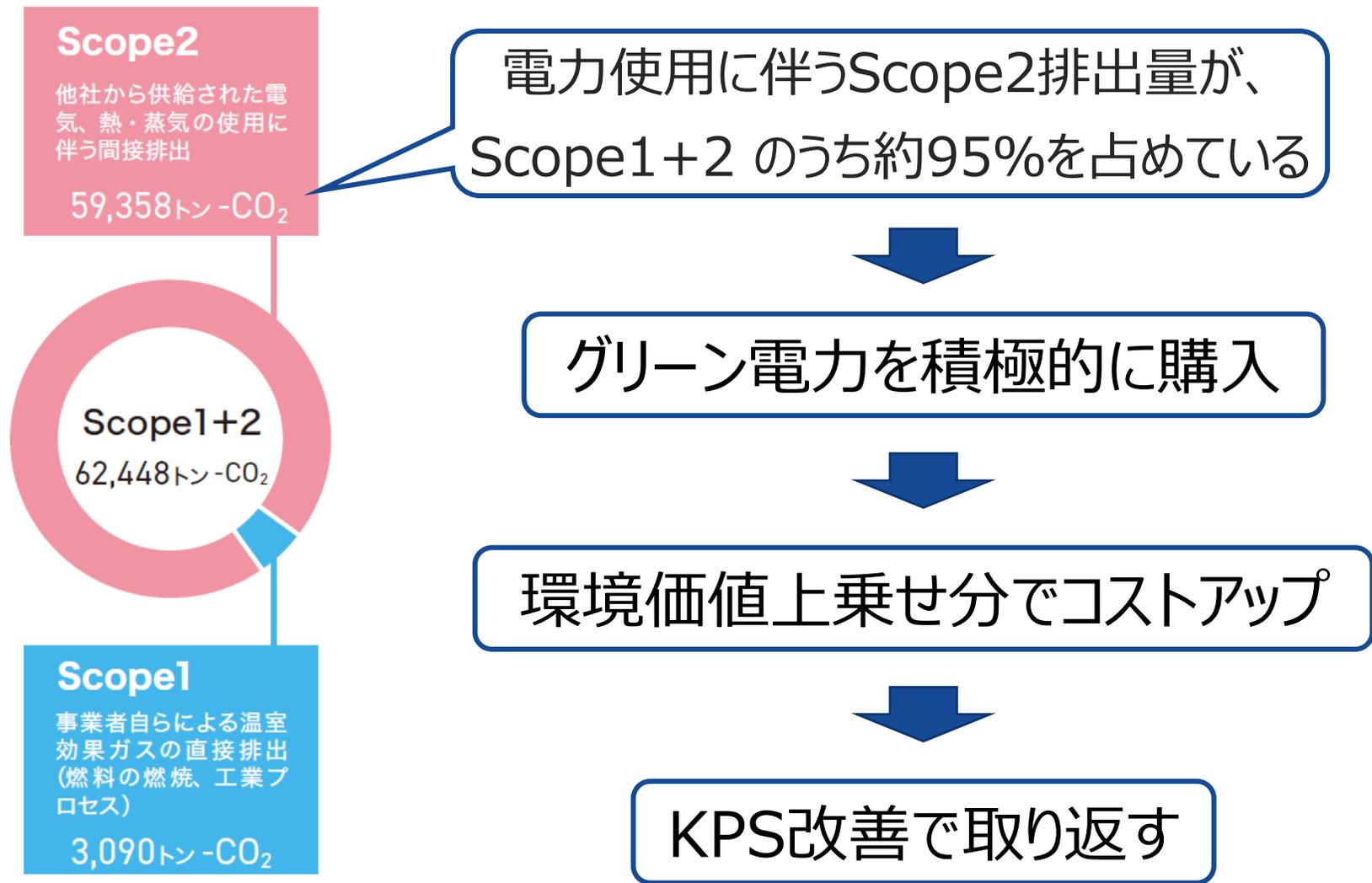
2024年度までにGHG排出量(Scope1~2)を2020年比65%削減、
2030年度までに70%削減する。

提供価値

地球との共生



グリーン電力の積極購入を方針に

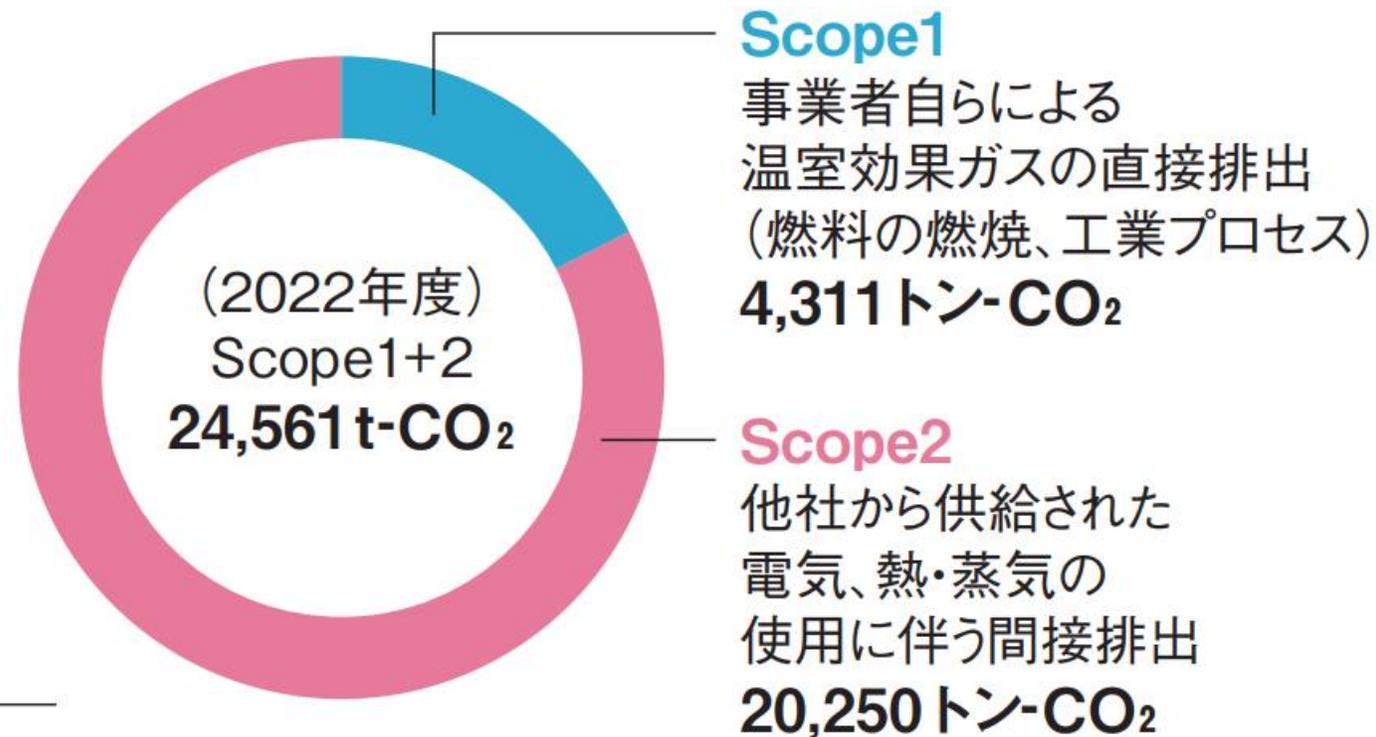
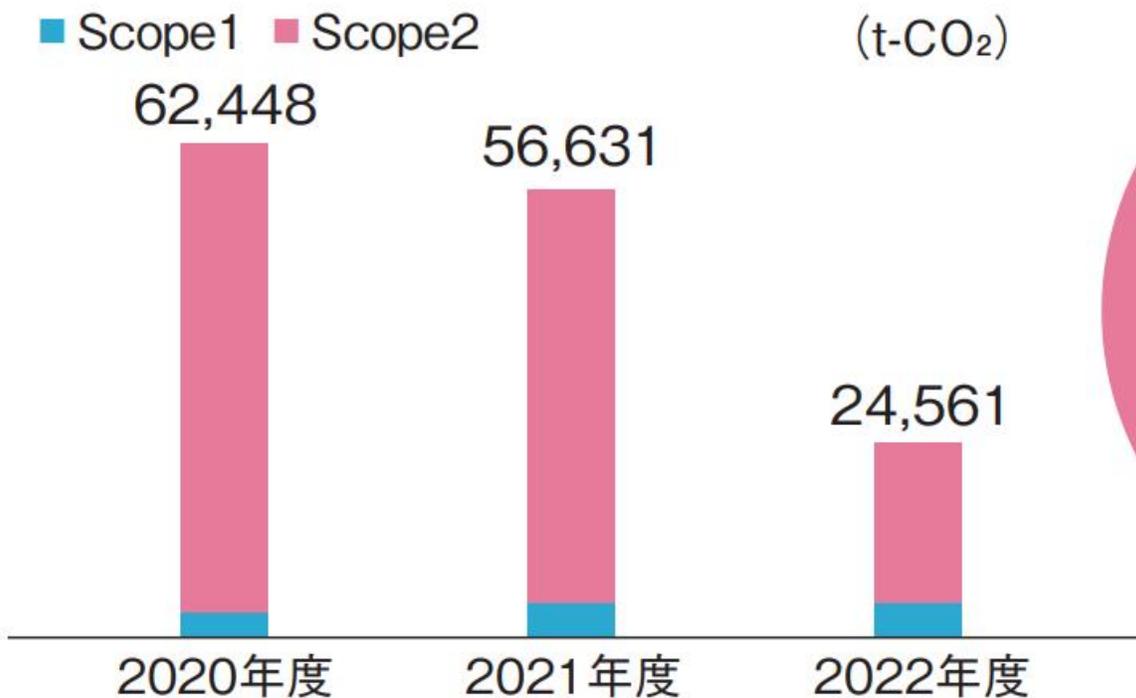


2022年度のCO₂排出量は61%減少

13 気候変動に
具体的な対策を



CO₂排出量推移



リサイクルシステム研究会の活動

伊那谷自然エネルギー 地消地産モデル構築



リサイクルシステム研究会は異業種18社で構成

* 発足の経緯

1990年（平成2年6月）「産業廃棄物等の適正処理についての研究会」を7社10名で発足

* 平成5年「リサイクルシステム研究会」に改称

循環型社会形成を目指す活動を推進

* メンバーは**上伊那・下伊那地域の異業種**で構成

会員企業数は18社（団体）、会員数は32名（事務局含む）

→ デバイス・オフィス家具・印刷・食品・電力・化学・電気機器・産廃・
精密機器・建設

【ビジョン】伊那谷を再エネで持続可能に！



SDGs17の目標
「ウェディングケーキ」



伊那谷の課題
：人口減少社会
への転換

環境課題
：資源の持続可能性
気候変動対策

伊那谷自然エネルギー―地消地産モデル構築

《目 的》

伊那谷が今も未来も豊かな地域であり続けるため、
生活基盤であるエネルギーを地消地産化し、
経済・社会・環境の好循環モデルを構築する。

《基本方針》

- 各種団体と連携する。
- 使用エネルギー効率の向上と再生可能エネルギーの増加を両輪で働きかける。
- 地消地産利用可能な再生可能エネルギーを推進する。



地消地産モデル構築ストーリー

地産を増やす

地消を増やす

個社

- ① **自家発比率を高める**
 - ・ 省エネで消費量減
 - ・ 伊那谷にふさわしい再エネ増

- ① **購入を宣言する、実践する**
 - ・ 伊那谷再エネマーケットをつくる
 - ・ 地域の再エネを少しずつでも買う

連携

- ② **地域発電所を増やす**
 - ・ 小規模を数多く
 - ・ 誰でも参入可能なモデル

- ② **余剰な熱・電気を地域内に流通する**
 - ・ 流通・購入のしくみをつくる
 - ・ エネルギー費用を域内で循環する

地域

- ③ **地域システムをつくる**
 - ・ 余剰資源をエネルギー化
 - 林業・農業をエネ供給業へ再構築

- ③ **地消地産エリアを拡大する**
 - ・ 自立分散型エリアの構築
 - ・ 災害対策との連携

個人

《個人のライフスタイルが変わる》

エネルギーと関わった生き方・新しい働きかた

2030ビジョン

ビジョンスローガン

Essential Parts of the World

ビジョンステートメント

私たちKOAは、
世界を支える必要不可欠な部品メーカーとなり、
豊かな社会をつくる世界の一員でありたい。
小さな部品で世界に大きな変化を起こします。

地球と調和した循環型社会を目指し、
社会課題の解決や豊かな暮らしの実現に取り組む
お客様の困りごとの本質を見極め、新しい価値を提供します。

継続的な改善、高い品質による信頼関係を礎に、
革新的な考働により未来を切り開きます。

Appendix

長野県内に多数の拠点

管理・開発拠点

- 本社（アースウイング）
- West Wing
- 伊那事業所
- ハローウイング



生産拠点

上伊那ビジネスフィールド

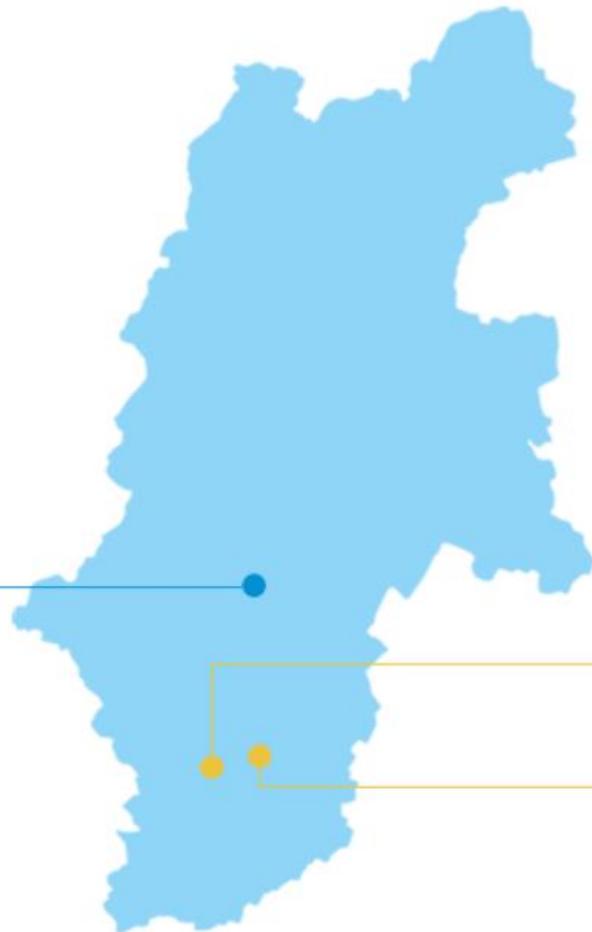
- イーストウイング
- 箕輪工場
- 西山工場



生産拠点

箕輪ビジネスフィールド

- MINOWAウイング
- 中央工場



興亜エレクトロニクス株式会社

- 新野工場
- 千代工場
- 泰阜工場
- 早稲田工場
- 南信濃工場

真田KOA株式会社

- 真田の郷

生産拠点

下伊那ビジネスフィールド

- 七久里の杜
- 匠の里



30年のノウハウで、第3ステージへ

第1ステージ

- ◆産廃適正処理モデルづくり
- ◆循環型地域社会のモデルづくり
 - 動脈静脈一体の研究会
 - 廃プラ共同回収モデル
 - 事例集「緑の地球に似合う企業を 目指して」発行
 - INAオフィス用紙循環システム構築

第2ステージ

- ◆泳げる天竜川
 - 24時間水質調査
- ◆子供たちへの教育
 - 環境ピクニック
 - 親子で水質調査
 - KIDS自然エネルギーコンテスト
→現：伊那谷再発見

動脈静脈・異業種

デバイス・食品・建設・化学・印刷・電力・産廃

伊那谷一体のモデルづくり

<秘訣>

メンバーが楽しむ
手間ひまかけず

参加者を広げる
事業を継続する
子供にアプローチする